

# 一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

## 令和5年度第12回理事会議事録

開催日時：令和6年3月13日（水）19：00～21：00

場所：浦添総合病院 4F 会議室（Web 併用）

**【参加】**（現地）手登根稔会長、山城篤副会長、山内恵副会長、立津千絵理事、喜舎場良香理事、原国督理事、金城正樹理事、仲宗根雅司理事、喜納はるみ理事、花木美香理事  
（Web）田盛仁事務局長、宮城和文理事、登川雅子理事、牧志輝理事、玉城正幸理事、我如古靖理事、八幡照幸離島担当理事

**【欠席】** 宮里副会長、與那嶺淳理事、国仲伸男理事

### 1. 沖臨技より

#### 1) 「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」について

- ・第10回の開催は令和6年8月11日（日）山の日を予定。この募集は、2ヶ月前の6月初旬頃から予定している。
- ・3月11日現在で修了者503名（座学履修済者30名、受講中61名）。
- ・今後の受講者に関して、入金についての規制は少し緩和されているが、50名の定数に関しては継続的に厳守となっている。50名に達していれば、第11回以降も現地で開催しなければならないが、人数が少なければ九州支部や日臨技でまとめて行う可能性も出てくる。また、琉球大学医学部保健学科の学生の対象者が約30名存在し、今後このタスク・シフト/シェアに関する講習会が学生のカリキュラムに組み込まれるかは不明の状況で、他に講師や実務員の都合もあり、沖縄県で常に開催出来る確約はなく、未受講の方は積極的に次回の第10回で受講を推奨する。

#### 2) サイエンステックフェス in 本部の報告

- ・去った令和6年2月18日（日）10：00～16：30にもとぶ文化交流センターで開催した。参加者は約500名で、午前中は忙しく午後は少し落ち着いていた。
- ・実務委員は、技師会から手登根会長は午後、学術部から東江部門長と仲村副分野長が準備も含め午前中参加した。他に北部地区から愛楽園から3名、北部地区医師会病院から3名が終日担当し、計9名のスタッフで担当した。
- ・臨床検査のブースは、①寄生虫の世界（糞線虫動画、寄生虫標本等）、②血液型検査の体験の内容を提示した。

#### 3) 令和5年度リーダー育成研修会を終えて

- ・沖臨技主催で、日臨技肝いりの企画であるリーダー育成研修会を令和6年2月18日（日）に友愛医療センターにてはじめて開催した。日臨技からは深澤専務理事をお招きしており、受講者には日臨技の方向性など、直に聞くことが出来て、非常に刺激になったと思われる。参加者は16名で、4班に分かれてグループワークも行っており、参加者からのグループワークのプレゼンは、逆に担当者が勉強になるような発想もあった。次年度以降も継続事業として開催していきたい。
- ・実務委員：山城副会長、宮里副会長、田盛事務局長、與那嶺理事、登川理事、国仲理事、金城理事

#### 4) 令和5年度(第39回)沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会を終えて

- ・ 去った令和6年2月25日に沖縄県医師会館で、令和5年度(第39回)沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会を開催した。今回はコロナ禍明けで、久しぶりに現地開催のみで実施している。
- ・ 教育講演は、当会の理事でもある国立病院機構沖縄病院の國仲伸男技師長に「臨床検査のための国際規格(ISO・CAP)取得の意義」のタイトルで講演していただいた。現在の検査情勢に合致した素晴らしい内容で、83名の参加人数があった。この報告会の修了証は、日臨技の施設認証で不可欠となってくるので、今後も多数の参加が望まれる。

#### 5) 第59回沖縄県医学検査学会について

- ・ 学会概要

令和6年3月13日現在

[日時] 令和6年6月16日(日) 8:00~17:00(前日、18:00~21:00で準備予定)

[場所] 琉球大学医学部臨床講義棟・保健学科棟

[学会長] 手登根稔(沖臨技会長:浦添総合病院)

[実行委員長] 田盛仁(沖臨技事務局長:沖縄県立中部病院)

[事務局長] 山内 恵(沖臨技副会長、琉大病院)

[学会テーマ] 「アフターコロナ~臨床検査のこれまで、そしてこれから~(仮)」

[学会企画]

##### ①シンポジウム「コロナ禍を振り返って~各方面から次の有事に備えるために~」(100分)

座長: 山内恵(琉球大学病院)、國仲伸男(国立病院機構沖縄病院)

1. 「沖臨技の取り組み」瀬戸司(アドベンチスト・メディカルセンター)
2. 「病院現場の立場から」宮里泰山(沖縄県立中部病院)
3. 「民間検査センターの立場から~AVSSとACT Lab.の取り組み~」

春山貴弘(株AVSS/ACT Lab)

4. 「行政の立場から」糸数公(沖縄県保健医療部部長)

##### ②特別講演「(災害に関する内容で調製中)」(60分)

講師: 奥沢悦子(八戸市立市民病院技師長・青森県臨床検査技師会会長・日臨技執行理事)

座長: 手登根稔(沖縄県臨床検査技師会会長)

##### ③会長講演「沖臨技の歩みと今後の課題」(40分)

講師: 手登根稔(沖縄県臨床検査技師会会長)

座長: 山城篤(沖縄県臨床検査技師会副会長)

[一般演題募集期間] 令和6年3月4日~3月31日

[ランチョンセミナー(4社)] 現在シーメンス、アボットジャパン、ロッシュの3社応募あり

- ・ 一般演題が少ない場合の2次募集は4月2週目までを予定している。
- ・ ランチョンセミナーの最後の1社はシスメックスに打診する。
- ・ 総会用の資料として、各副会長と会計担当は準備をお願いしたい。
- ・ これまで沖縄県医学検査学会の学会場を琉球大学医学部の施設で実施してきたが、施設移転に伴い、

次年度以降どのような形となるか未知数で、今後検討が必要となる。

#### 6) 令和6・7年度日臨技理事候補者推薦

- ・現日臨技理事の手登根稔氏を継続して推薦している。
- ・日臨技会長候補は横地前副会長で、日臨技の人事や体制は会長の裁量で決定していくので、大きく変わる可能性がある。
- ・九州支部は現在、8県のうち会長と日臨技理事の兼務は半分の4県で、残りの半分は別々の担当となっている。

#### 7) ひまわり奨学金第一号奨学生決定通知書授与式

- ・去る令和6年2月23日（金）に沖臨技事務所にて、ひまわり奨学金第一号奨学生の授与式が行われた。奨学生対象者は、沖縄県立向陽高校3年生の仲間優杏（なかもゆあん）さんに決定しており、お母さんと2人で来訪していた。是非、臨床検査技師になるための勉学に励んでいただきたい。

## 2.九州支部より

### 1) 大分県臨床検査技師会創立70周年記念式典への参加

- ・令和6年3月2日（土）にレンブランドホテル大分にて、大分県臨床検査技師会創立70周年記念式典が開催され、当会から手登根会長が参加した。
- ・同日、大分県技師会事務所設立の内覧会あり、30～40名が収容できる立派な事務所で、当会も今後方向性を検討していきたい。

### 2) 第2回九州支部幹事会

- ・令和6年3月9日（土）にエIMUMアテイン博多駅東会議室にて、第2回九州支部幹事会が開催され、当会から手登根会長と山城副会長の2名が参加した。
- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の受講率は、沖縄県がダントツで高い。
- ・日臨技からの事業企画の一つである災害対策関係は、九州各県あまり進捗がないが、福岡県と長崎県が若干進んでいる。全国的には、山梨県、京都府、徳島県が進んでいる。当会も沖縄県に寄り添いながら、県内関係者にも協力いただきながら進めていきたい。まずは、協定書とマニュアル作成が直近の取り組みとなる。
- ・九州支部医学検査学会関連：昨年終えた第57回九州支部医学検査学会（2023年10月22日・23日開催）の佐賀県は参加人数が若干少なかった。今年開催する第58回九州支部医学検査学会（2024年11月9日・10日開催）の鹿児島県は4月から一般演題の募集の公募がはじまる。
- ・沖縄県からは、臨床検査技師の認知度向上のために、ラジオ（FM沖縄）等を介していることをPRした。

## 3.日臨技より

### 1) 令和5年度「日臨技生涯教育推進研修会」の送金について

- ・日臨技から助成金（1研修会最大5万円）を受ける日臨技生涯教育推進研修会は、今年度（2023年度）9つの研修会が開催され、全送金額は433,500円であった。当会は離島県であり、講師の招聘には費用が掛かるため、次年度は積極的に最大20研修会の活用を目指したい。

### 2) 法人会計勉強会の案内

- ・法人会計勉強会が次年度に年5回（6, 8, 10, 12, 2月開催：18：30～19：30）開催される各都道府県5名まで参加が可能で、参加料金は一括20,000円となっている。
- ・講師は高原和之先生（公認会計士、日臨技監事）、高村好実先生（経営学MBA、愛媛県会長）となっており、インボイスの説明などの内容で、申請〆切は令和6年4月30日となっており、当会も参加の方向で検討したい。

#### 4. 沖縄県臨床検査技師連盟 より

- ・連盟ニュース 171号が発信されている。
- ・日臨技連盟があまり動いている印象がなく、九州各県から方向性が定まらないとの疑問の声があった。
- ・当会の活動としては、2月23日（金）に島尻忠明県議会議員出初式があり、宮崎厚生労働副大臣も参加しており、当会から手登根会長、瀬戸支部長、我如古理事が出席した。3月2日（土）に自民党沖縄県連陽春の集いがあり、県議会出馬に向けて各候補活気があった。当会から瀬戸支部長と山城副会長が出席した。

#### 5. 会計報告

- ・2月分報告：沖縄県公衆衛生協会よりサイエンティフィックフェスの行動費として252,120円の入金があった。

#### 6. その他

- ・沖臨技の事務員である喜舎場薫さんが5月末日で退職する。後任のかたを公募するが、知人がいれば紹介していただきたい。それに伴い、今後当会もペーパーレスの方向で検討していきたい。
- ・新しくリニューアルされた当会のホームページに関して、担当する福琉印刷さんとのやりとりの流れが現在不明である。学術関連もあるので、しっかりルートを決めていただきたい。
- ・南部圏内に臨床検査技師の養成学校が設立し、臨床検査技師の公募の情報があつたが、設立元が不明で住所が南風原町のサザンヒルとなっている。当会としては注視の方向でいきたい。

次回（令和6年度第1回理事会）：

令和6年4月10日（水）19：00～技師会事務所（現地+Web）開催予定

令和6年3月15日

文責：山城篤